



Power X



会社名	:	株式会社パワーエックス(PowerX, Inc.)
設立	:	2021年3月22日
代表者	:	取締役 兼 代表執行役社長 CEO 伊藤 正裕
所在地	:	本社 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウンタワー43階
	:	製品ショールーム 東京都港区六本木7丁目8-6 AXALL ROPPONGI 2F
	:	蓄電池工場 岡山県玉野市田井6-9-1 (自社工場)
	:	研究開発 東京都大田区平和島
事業内容	:	大型蓄電池の製造・販売、EVチャージステーションのサービス展開 法人向けの電力供給、及び電気運搬船の開発・製造
従業員数	:	157名 (2025年5月時点)
資本調達額	:	290.9億円 (資本準備金と銀行融資含め)

Vision

永遠に、エネルギーに困らない地球

Mission2030

自然エネルギーの爆発的普及を実現する



Power X

ためる

BESS
販売事業

使う

EV チャージステーション
事業

電力事業

電力販売

蓄電所の開発及び運営

ソリューション・エンジニアリング

バッテリーマネジメント
システム

電力マネジメント
システム

アプリケーション
ソフトウェア

Made in Japanの蓄電池製造基盤

海上パワーグリッド

100% 子会社

運ぶ

電気運搬船事業

*電気運搬船事業の資金調達は、
パワーエックスとは別に行われます

製造拠点・製品紹介



蓄電池製造工場 研究拠点



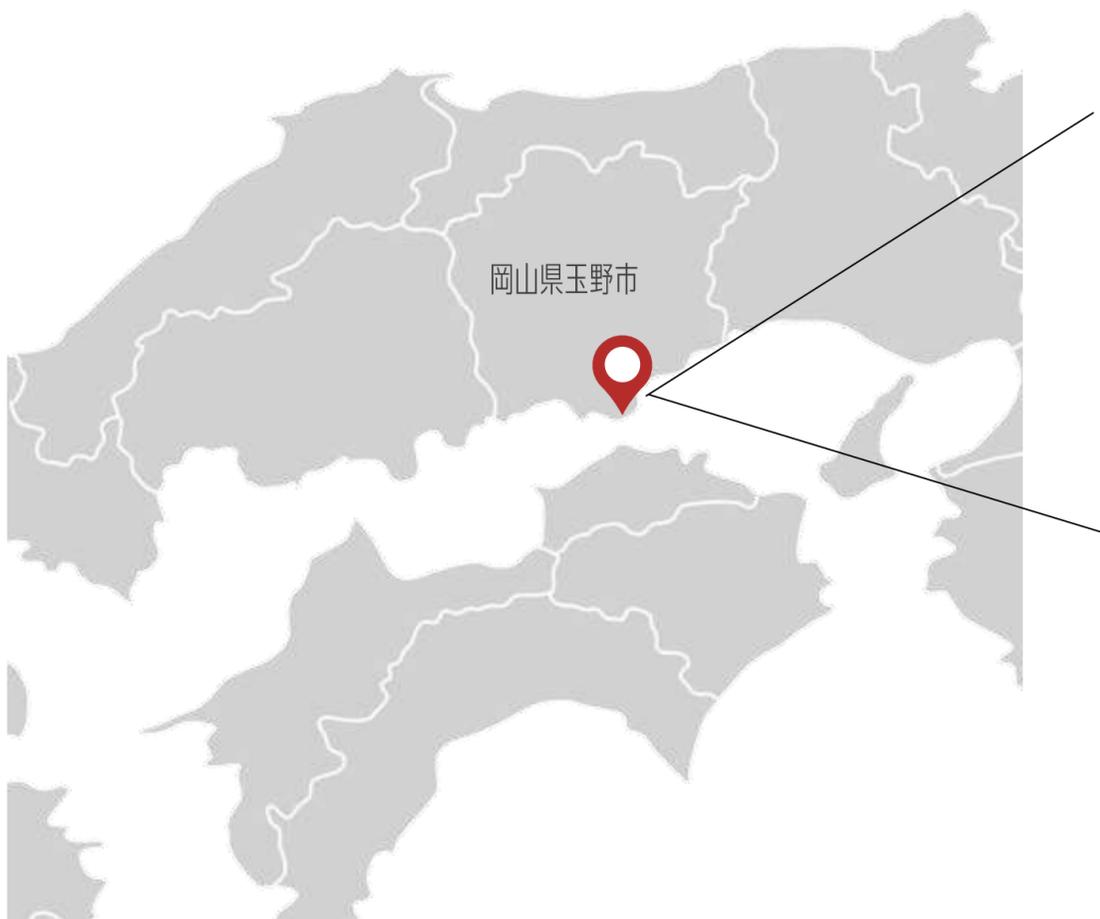
国内トップクラス*1のBESSインテグレーターとして生産設備を増強中

- ▶ 国内の施設で全ての製品を製造
- ▶ コンテナ型定置用蓄電池の生産キャパシティを2028年までに年間最大約7.1GWh*2に拡大する計画

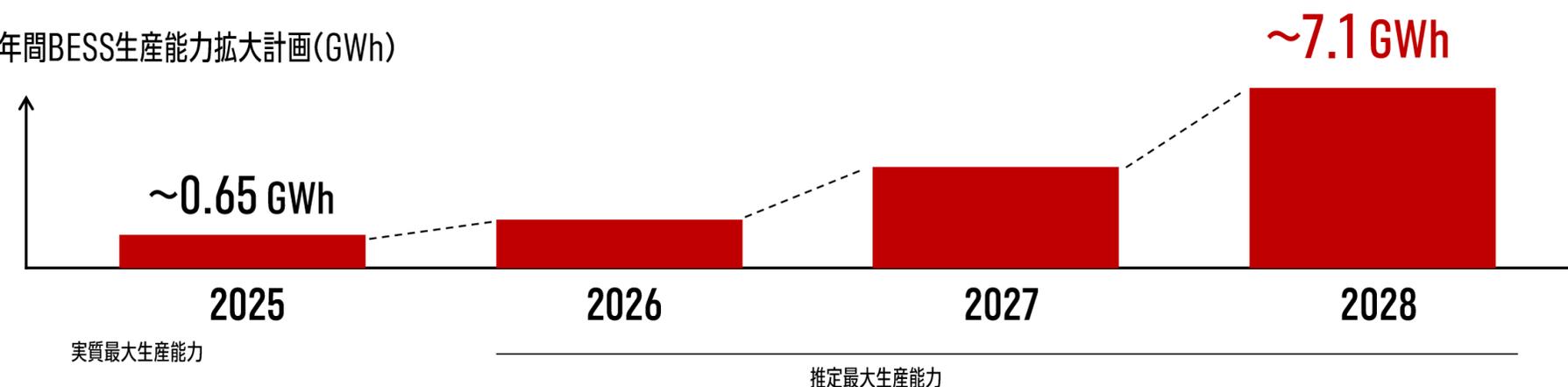
① Power Base (自社工場)



② 岡山パートナー工場



年間BESS生産能力拡大計画(GWh)



*1 「トップクラス」という表現は、当社が2024年度に事業者のBESS導入に対して日本の系統用蓄電池プロジェクトに交付された政府及び東京都の補助金施策の内、最も高い採択率(48%)を獲得した唯一のBESS提供事業者となっている事実に基づいて記載。当該数値は現在の弊社の製造能力の高さを占めず一要素として認識

*2 将来見通しの数値は、現時点での目標数値であり、市場状況の変化を含む様々なリスクや不確実性による影響を受ける。これらの数値は、岡山パートナー工場(2026年拡張予定)及びPower Base(2027年拡張予定)双方の拡張計画に基づいております。拡張に向けた設計は既に開始しており、敷地も確保済み。また、GWhの値は、製造可能なMega Powerの数量に同商品のストレージ容量を乗じて算出

研究開発拠点



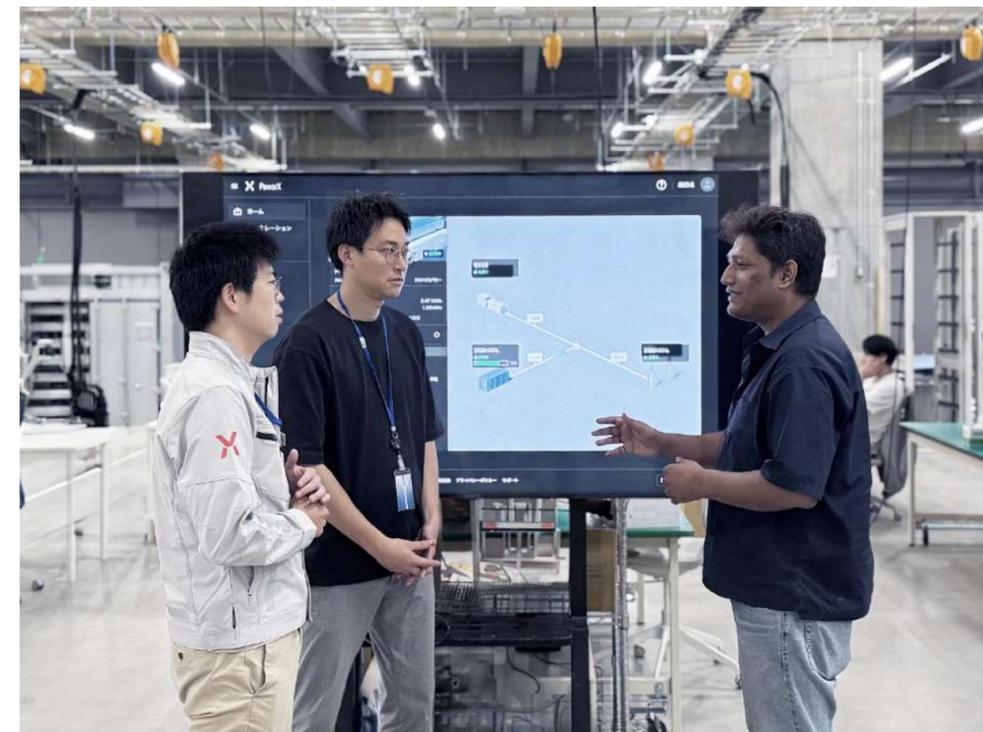
【概要】

拠点名：「POWERD LAB (パワードラボ)」

所在地：東京都大田区平和島

賃借面積：約1,400m²

移転日：2025年7月1日





製品ラインナップ



PowerX BESS & Charging System Products

量産中

NEW

PowerX Hypercharger

超急速EV充電システム



PowerX Cube360 (+ PX PCS 100)

定置用蓄電システム
(商業用)



PowerX Mega Power 2700A

定置用蓄電システム
(20ft)



PowerX Mega Power 2500

コンテナ型定置用蓄電池
(10ft)



Hyperchargerラインナップ



	◆Hypercharger	◆Hypercharger Pro	◆Hypercharger compact
公称容量 / 定格容量	:	323kWh / 358kWh	161kWh / 179kWh
入力電圧	:	50kVA	
充電ポート数	:	2ポート	1ポート
充電方式	:	CHAdeMO オプション)NACS/CCS	CHAdeMO
連続出力	:	2ポート同時充電は120kW連続充電 1ポートのみの場合、ブーストモード後に120kW連続充電	ブーストモード後に120kW連続充電
ピーク時出力(~10分)	:	1ポートのみの場合に150kW連続充電(10分)	150kW連続充電(10分)
プロトコル準拠	:	CHAdeMO 2.0.1 CHAdeMO 2.0.2対応予定	CHAdeMO 2.0.1
寸法(パワーユニット)	:	2,900 × 1,200 × 2,550	4,020 × 1,350 × 1,900
重量(パワーユニット)	:	約5,600kg	約5,600kg
寸法(ディスペンサーユニット)	:	250 × 850 × 1,800	
重量(ディスペンサーユニット)	:	約175kg	



PowerX Mega Power 2700A



◆Mega Power

公称容量 / 定格容量 : 2,742kWh / 2,468kWh

運転電圧範囲 : 850V – 1,241V

寸法 : 2,438 × 6,058 × 2,896

重量 : 約 29.6t

冷却方式 : 空冷

防塵・防水等級 : IP54

準拠規格 : IEC62619 / IEC62933 / IEC62477-1 / IEC61000-62-2-4 /
UN38.3 / UL9540A // UL1973 / JIS8715-2



Mega Power 2500 **NEW**



◆Mega Power 2500

公称容量 / 定格容量 : 2,507kWh / 2,256kWh

運転電圧範囲 : 1,040V – 1,500V

寸法 : 2,438 × 2,991 × 2,896

重量 : 約 25t

冷却方式 : 水冷

防塵・防水等級 : IP54

準拠規格 : IEC62619 / IEC62933 / IEC62477-1 / IEC61000-62-2-4 /
UN38.3 / UL9540A // UL1973 / JIS8715-2



PowerX Cube 360



◆PowerX Cube 360

公称容量 / 定格容量	: 358kWh / 323kWh
出力	: 100kVA
定格入出力電圧	: AC420-480V
寸法 (BU)	: 1,800 × 1,200 × 2,550
寸法 (EU)	: 900 × 1,200 × 2,550
重量 (BU)	: 約 4,200kg
重量 (EU)	: 約 1,400kg
冷却方式	: 空冷
防塵・防水等級	: IP54
適用規格	: UL1642 / UL1973 / UL9540A / UN38.3 / GB T36276





PowerX製品の強み

PowerX製品の採用・導入で得られること



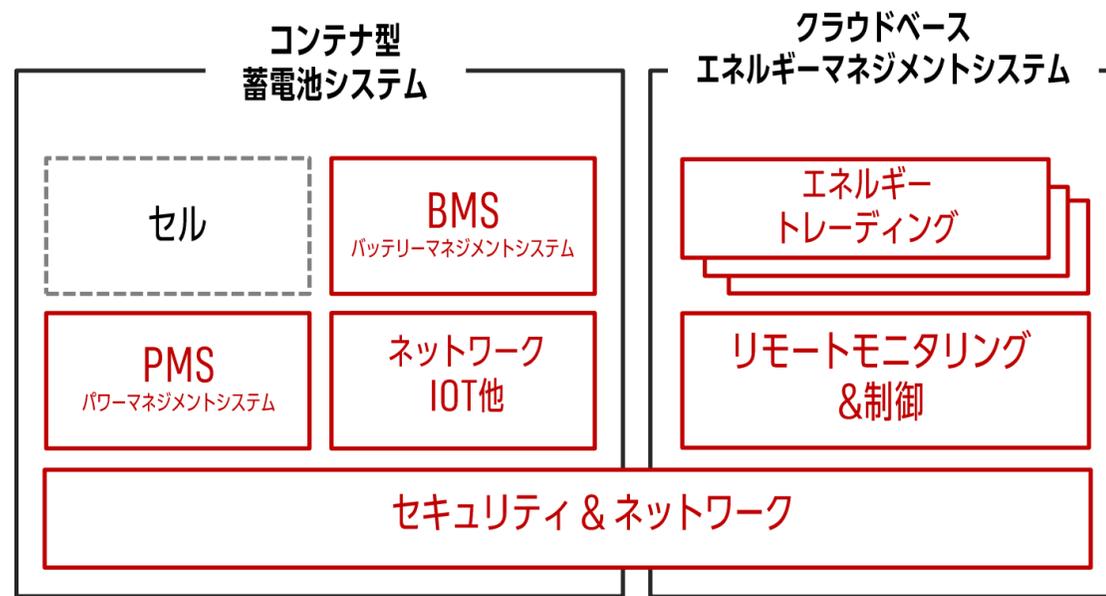
Power X	特徴	採用・導入で得られること
製品製造	PowerXは、国内製造で、最高レベルの性能と品質、安全性を実現	<input checked="" type="checkbox"/> 20年運用も安心・安全
ソフトウェア開発	PowerXは、ソフトウェアも国内開発で、万全のセキュリティ対策を実現	<input checked="" type="checkbox"/> サイバーセキュリティ上の不安を解消
価格	PowerXは、海外勢と同等の価格帯を実現	<input checked="" type="checkbox"/> 国産製品で高い事業性を実現
レジリエンス	PowerXは、メンテナンスもスペアパーツの手配もすべて国内からの対応	<input checked="" type="checkbox"/> 万全のサポート体制で安心
補助金	要件、採点申請時の加点項目を網羅	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業にて採択の可能性UP

Made in Japan 宣言



垂直統合型の自社開発ソフトウェアがBESS全体を制御

バッテリーエネルギー貯蔵システム(BESS)



セルがコモディティ化する中、当社は共通の基準を満たし、第三者機関により安全性が認証された製品を採用。セルはあくまで単電池製品であり、単体では蓄電池として機能せず、モジュールに組立られラックに積載されることによりBESSの蓄電部品として機能する

弊社はセル及び一部のモジュール以外のすべての製品コンポーネント、制御システム、ネットワーク、アプリケーションの設計・開発・組立から運用サポートまで一貫して自社且つ国内で手掛ける



● Made In Japan 宣言*

*私たちが掲げる「Made in Japan 宣言」というスローガンは、電力インフラの最高水準のセキュリティは以下三つの要素によって実現されるというゆるぎない信念を表明するものです

日本国内で設計、
組み立てられた製品

製品開発・生産拠点は100%日本国内。岡山県玉野市に所在する自社工場及び協力工場にて高品質で信頼性のある蓄電池を一貫して組立

自社開発ソフトウェアによる
セキュリティの確保

国内のインフラを外部から守るために開発された自社ソフトウェア。電力の送配電等の基幹システムへのサイバー攻撃リスクを最小化し、国内の電力安定供給を支える

365日24時間の
完全現地サポート体制

日本全国に専門チームを配備。製品導入後の運用やトラブル対応など、あらゆる技術サポートをオンサイトで提供



BESS市場におけるポジショニング

▶ 弊社は、日本国内での蓄電池の製造、組み立て、オペレーション及びメンテナンス体制の構築を行うことにより日本における電力インフラに最適なソリューションを提供し、経済合理性とセキュリティの両立を実現

		国内企業*1		海外企業			
		Power X	国内A社	国外B社	国外C社	国外D社	国外E社
エコノミクス*2		<input checked="" type="checkbox"/>	—	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
エネルギーの 安全保障*2	国内での 組み立て	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—	—	—
	国内での オペレーション	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—	—	—
	国内での メンテナンス	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—	—	—

*1 2024年度に採用された系統用蓄電池に対する日本政府および東京都の補助金事業において、採用率が4%である国内企業1社に関しては、当社を含むグラフ内の企業の製品とは異なる用途のバッテリーを販売しているためグラフより除外

*2 競合他社のエコノミクスに関する情報は、事業者のBESS導入に対する補助金交付施策に関与する関係者への調査を含んだ弊社独自の調査に基づいており、記載内容の正確性を保証するものではない。比較検証は必ずしも同一時期の同一製品について実施されたものではない。チェックボックスは当該他社の製品の希望小売価格が、当社製品の希望小売価格の15%以内の価格であることを示す。「-」は、その範囲よりも価格が高いか同等以上であることを示す。「国内での組み立て」の日の丸表示は、最終製品が日本国内に所在の工場にて組み立てられていることを示す。「国内でのオペレーション」の日の丸表示はバッテリー制御に使用されるEMSまたはBMSが日本企業から供給されていることを示す。「国内でのメンテナンス」の日の丸表示は製品サポート、メンテナンス及びアフターサービスの主要拠点が日本国内にあることを示す



競合他社の概要～国内市場の競合BESSサプライヤーの製品ラインナップ^{*1*2}～

企業	ESS (エネルギー貯蔵システム)	PCS (パワーコンディショナー)	TR (変圧器)	PMS (パワー管理システム)	EMS (エネルギー管理システム)	AC/RA (アグリゲーション・コーディネーター)
Power X	○	○	○	○	○	○
国内A社	○	○	○	○	○	X
国外B社	○	○	X	○	X	X
国外C社	○	X ^{*3}	X	○	X ^{*3}	X
国外D社	○	○	○	○	X	X
国外E社	○	X	X	X	X	X

^{*1}各社公表資料または事業者のBESS導入に対する補助金交付施策に関する関係者への調査を含んだ弊社独自の調査に基づく

^{*2}表では各企業が自社製品の一部として、以下の各コンポーネントを提供可能な場合に「○」の記号を使用している。「×」は、コンポーネントが当該企業から直接提供されていないことを示している。EMSおよびAC/RAについては、日本国内の電力市場特有の機能（電力取引や需要応答など）をサポートするソリューションがある場合にのみ「○」が付けられる

・ESS（エネルギー貯蔵システム）：電気を貯蔵し、必要に応じて供給を行う、・PCS（パワーコンディショナー）：直流（DC）・交流（AC）を変換し、バッテリーと電力網の間のインターフェースを機能させる、・TR（変圧器）：電圧レベルを調整し、適切な電力網接続を可能にする、・PMS（パワー管理システム）：電力の使用状況を監視・制御し電力の最適な運用を可能にする、EMS（エネルギー管理システム）：電力の需給バランスを最適化し、電力取引・運用を管理する、AC/RA（アグリゲーション・コーディネーター）：複数のシステムを束ね、電力市場との接続・取引を実施。現場の電力リソースを管理・制御し運用を最適化させる

^{*3}CATLと契約を結んでいるTAOKEのような企業は、CATL製のESS（エネルギー貯蔵システム）にサードパーティー製のPCS（パワーコンディショナー）やEMS（エネルギー管理システム）を組み合わせた蓄電所パッケージを提供していますが、これらの構成部品はCATL単独では提供していない

弊社製品の安全性（海外製品との比較）



	Power X	海外製品 （価格重視のメーカー製品の場合）
コストと品質 バックドアのリスク	<p><制御系ユニットは、安全性・品質を重視して採用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際的な規格に対応 ・メーカーから内部仕様が公開されており透明性が高い ・製品の品質も高く、防塵・静電気なども対策 <p style="text-align: center;"> コスト：○ 品質：◎ バックドアリスク対応：◎ </p>	<p><制御系ユニットは、価格を優先して採用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基盤むき出しで防塵対策なし ・メーカーから仕様が公開されておらずブラックボックス ・配線・はんだ付けなども手作業で品質は悪い <p style="text-align: center;"> コスト：◎ 品質：× バックドアリスク対応：× </p>
クラウド制御の脆弱性	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウド制御やシステム構成についても、セキュリティを重視した国際的な規格※に準拠し、クラウド制御とバッテリー制御を独立したレイヤーに分けて保護し、安全性を確保。 ・クラウドシステムやデータはすべて国内サーバーにあり、セキュリティ対策の面でもより安心・安全な環境で稼働 <p style="text-align: center;"> クラウド制御の脆弱性対策：◎ </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウド制御やシステム構成などについて、独自の簡易的な構成で実装されており、安全性に関する配慮が不十分 ・クラウドシステムやデータが海外サーバーにあり、万一の場合に故意あるいは悪意のサイバー攻撃などによりシステム停止などの被害を受ける懸念あり <p style="text-align: center;"> クラウド制御の脆弱性対策：× </p>

※：IEEE 2030.7：IEEE（Institute of Electrical and Electronics Engineers：米国電気電子工学会）によるマイクログリッドコントローラの標準化規格



PowerXのセキュリティ対策

- ▶PowerXの蓄電システムは、あらゆるレベルでセキュリティに関する国際的な標準規格に準拠し、安心のセキュリティ対策を実施
- ▶コンポーネント領域において、新たにJC-STAR★1レベルの取得を予定しております。

		 Power X 弊社のセキュリティ対策	 JC-STARがカバーする範囲
組織	組織としての、包括的な情報セキュリティ管理体制が整備、リスクアセスメント、セキュリティ方針、教育訓練、インシデント対応計画などの枠組み	ISO27001 取得	対策なし
システム設計	ネットワーク構成、アカウント管理や権限設定、ログ取得、監視、インシデント対応手順、運用マニュアルの整備など、制御システム全体としての、セキュリティを配慮した設計	IEC 62443 準拠	対策なし
コンポーネント	制御システムを構成するデバイスへの、ユーザー認証、アクセス制御、ログ取得機能、通信データの暗号化や署名検証など、セキュリティや保護の構築のための必要な機能の具備	IEC 62443 準拠 発電所や産業システムなどの重要インフラシステム向け	JC-STAR ★1 (レベル1) ネットワークカメラ、家電、OA製品、センサーなど
技術	制御系ネットワークの構築、アクセス制御、ファイアウォール、通信暗号化・認証、通信ポートと通信プロトコルなどの通信制御など、セキュリティ対策構築の基盤となる技術	IEC 61850 準拠	対策なし



PowerX蓄電システムのセキュリティ対策 (システム構成デバイス)

AI・機械学習型
クラウド EMS / CSMS



Power OS

ミドルウェア

Open ADR

GENNAI*1

OCPP

SunSpec*2

自社設計・開発

+

サードパーティシステム
ともカスタマイズ可

ファームウェア

Grid Interconnection

Battery Management

Charger Management

PCS Management

アプリケーション

蓄電所AI



蓄電所トーリング



X-PPA



PowerX App



リカーリング収益

*1当社が現在開発・運用している独自の電力制御ミドルウェア。蓄電システムのリアルタイム制御、分散制御、データ処理・最適化といった高度な機能を提供

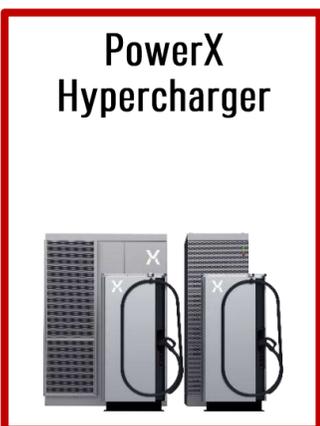
*2SunSpecは太陽光発電や蓄電池などの分散型エネルギー資源 (DER) の相互運用性を確保するための通信標準規格。当規格へ対応するためのミドルウェアを当社で開発中



蓄電システムの活用シナリオと パワーエックスのソリューション

蓄電池活用シナリオ #1

EV超急速充電



PowerX Cube
(+ PX PCS 100)



PowerX
Mega Power 2700A



PowerX
Mega Power 2500



PowerX Hypercharger



国内最速級の 超急速EV充電器



- 最大150kWの高出力(本年中に240kWにアップグレード)
- 120kW x 2台同時充電も可能
- 高圧変電設備不要。低インフラ・コストで導入が可能
- 製品を国内開発・生産・運用で高いセキュリティ
- 再エネを蓄電池に貯めて24時間再エネ満タン
- OTAソフトウェアで常に最新状態にアップデート
- 24時間365日の監視体制で保守、駆けつけ対応
- OCPP、OCPI対応





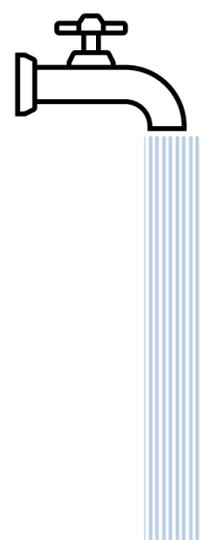
蓄電池の効果

- ▶ 急速充電の容量が大きくなるほど、供給側の設備が大きくなる必要があり、高圧受電化のコストや基本料金コストが高くなります。
- ▶ 蓄電池により、低圧受電の状況下で急速充電が可能になります。

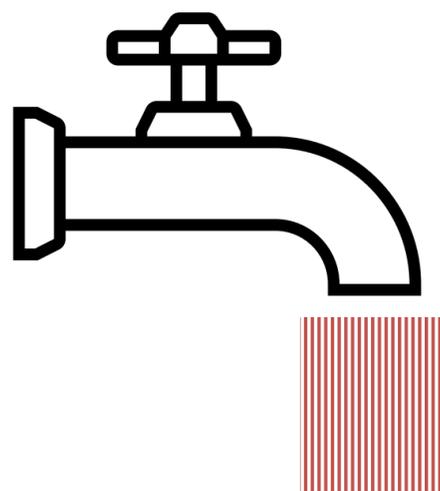
普通充電

急速充電

供給



需要



X Power X



速度：



コスト：





ユーザーの利便性を追求したEV充電サービス

予約・充電・決済の全てがスマホで完結

柔軟なサービス設計



- ☑ 現状：アプリ、事前予約*最大75分の予約枠性の採用
- ☑ 今後：RFIDカードでの充電も可能に、予約なしでの充電機能を開発済



蓄電池活用シナリオ #2

系統用設蓄電所

PowerX
Hypercharger



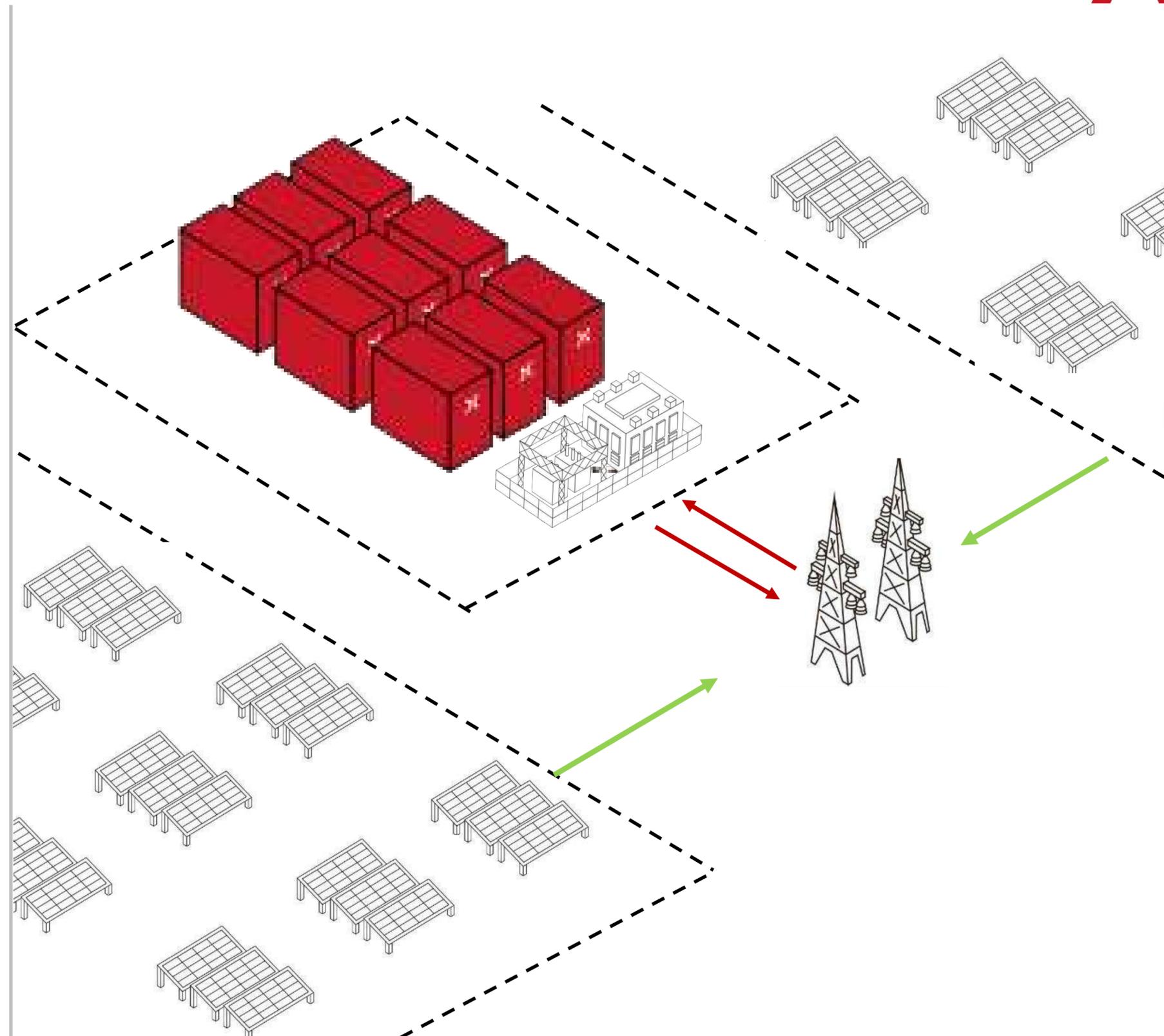
PowerX Cube
(+ PX PCS 100)



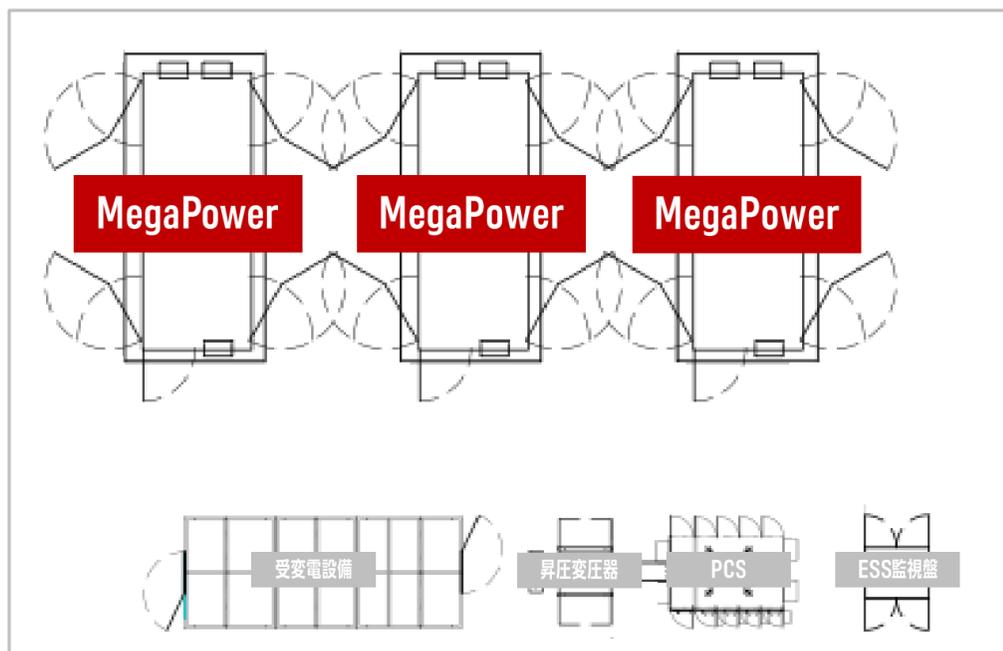
PowerX
Mega Power 2700A



PowerX
Mega Power 2500



蓄電所パッケージ



01

蓄電所に必要なシステムを
パッケージでご提供

02

セキュリティ対策万全の
制御設計

03

各種資料の一括提供で
ご検討・ご計画が容易

04

国産システムで
20年間の安心サポート



蓄電池活用シナリオ #3 再エネ併設蓄電所

PowerX
Hypercharger



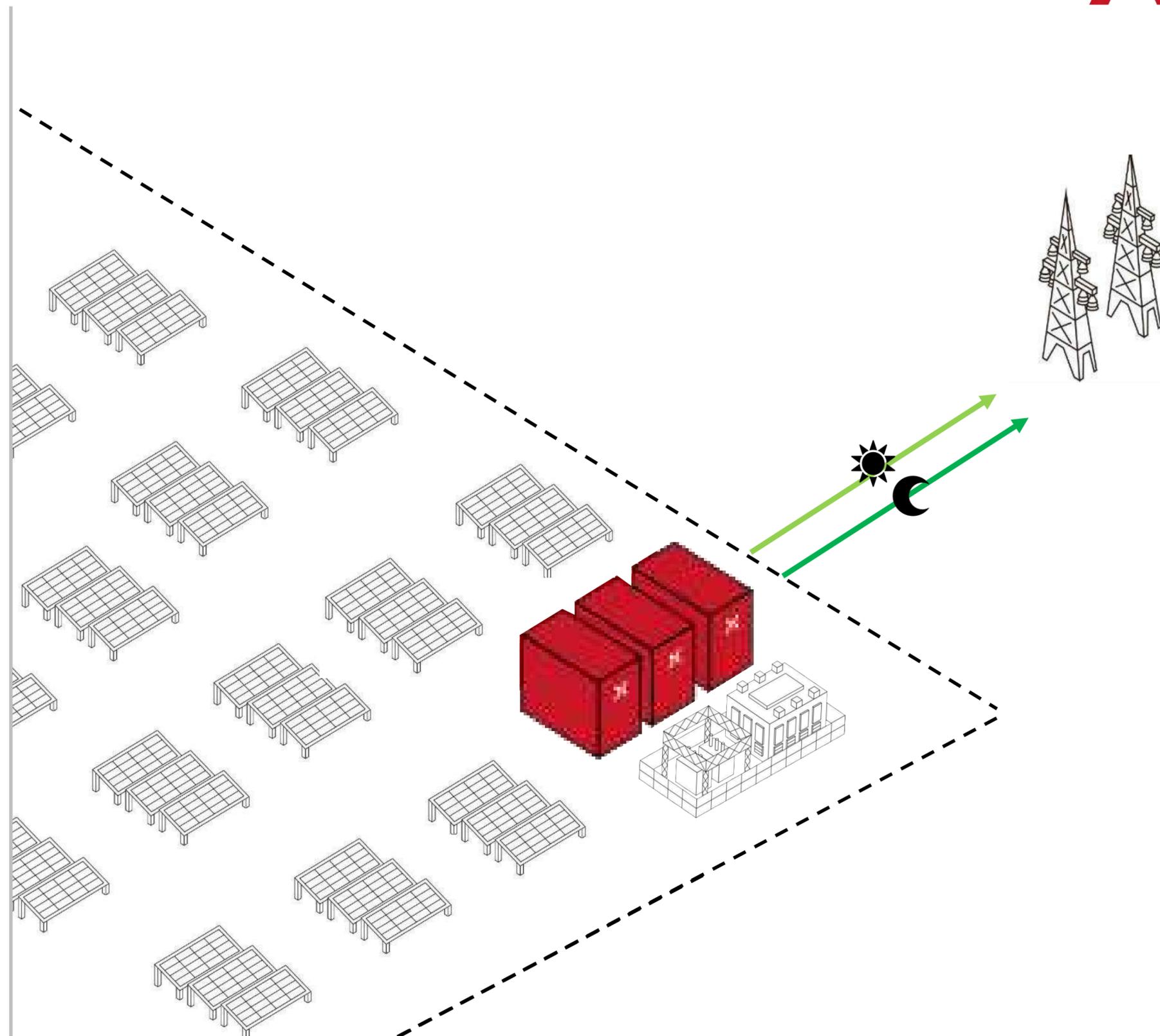
PowerX Cube
(+ PX PCS 100)



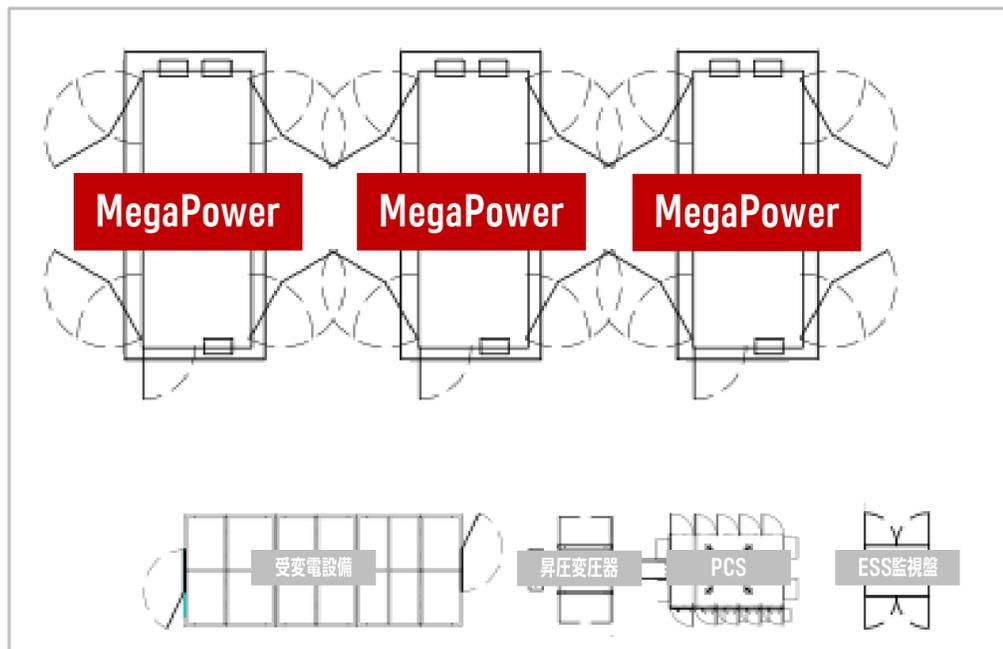
PowerX
Mega Power 2700A



PowerX
Mega Power 2500



太陽光併設蓄電池パッケージ



01

既存の太陽光発電システムを
考慮した構成提案

02

太陽光発電システムと
強調したEMSの提供

03

各種申請・法令対応むけ資料
のサポート

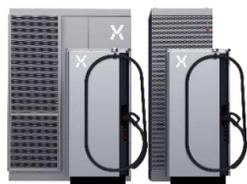
04

国産システムで
20年間の安心サポート



蓄電池活用シナリオ #4 需要家併設蓄電池

PowerX
Hypercharger



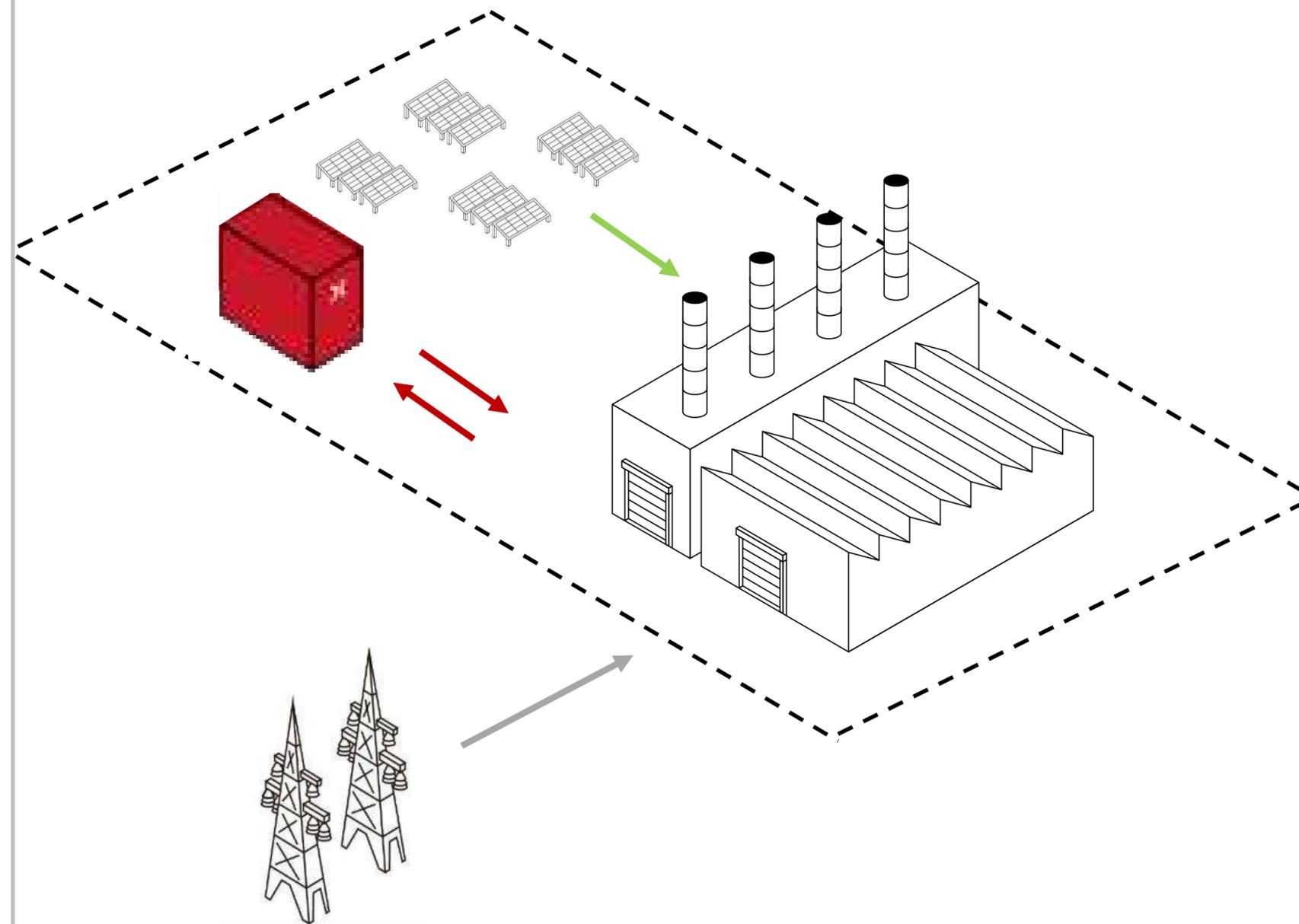
PowerX Cube
(+ PX PCS 100)



PowerX
Mega Power 2700A



PowerX
Mega Power 2500

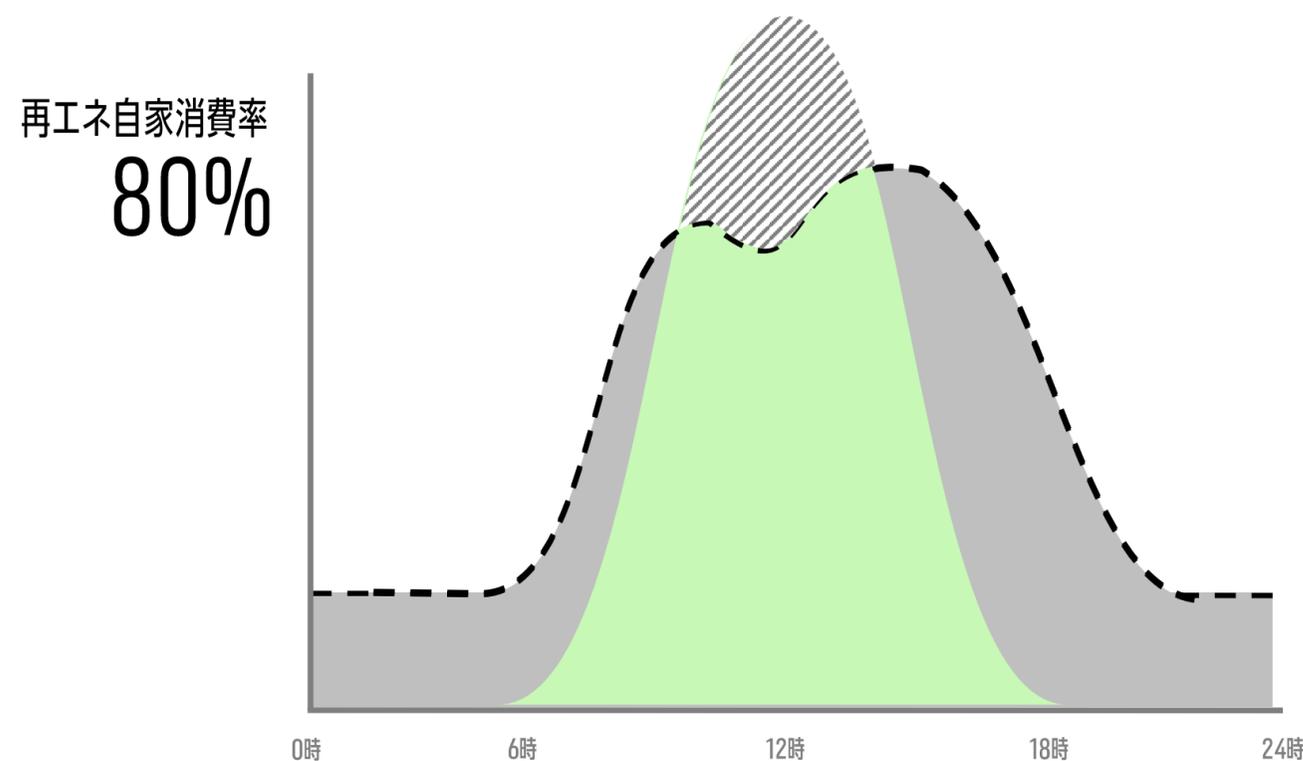


蓄電池の運用① 再エネ発電量の最大化

- ▶ 本来捨てられてしまう貴重な再エネを蓄電池の充放電により無駄なく活用し再エネ利用率が向上
- ▶ 購入電力量が減らし、電気代の電力量料金を削減可能

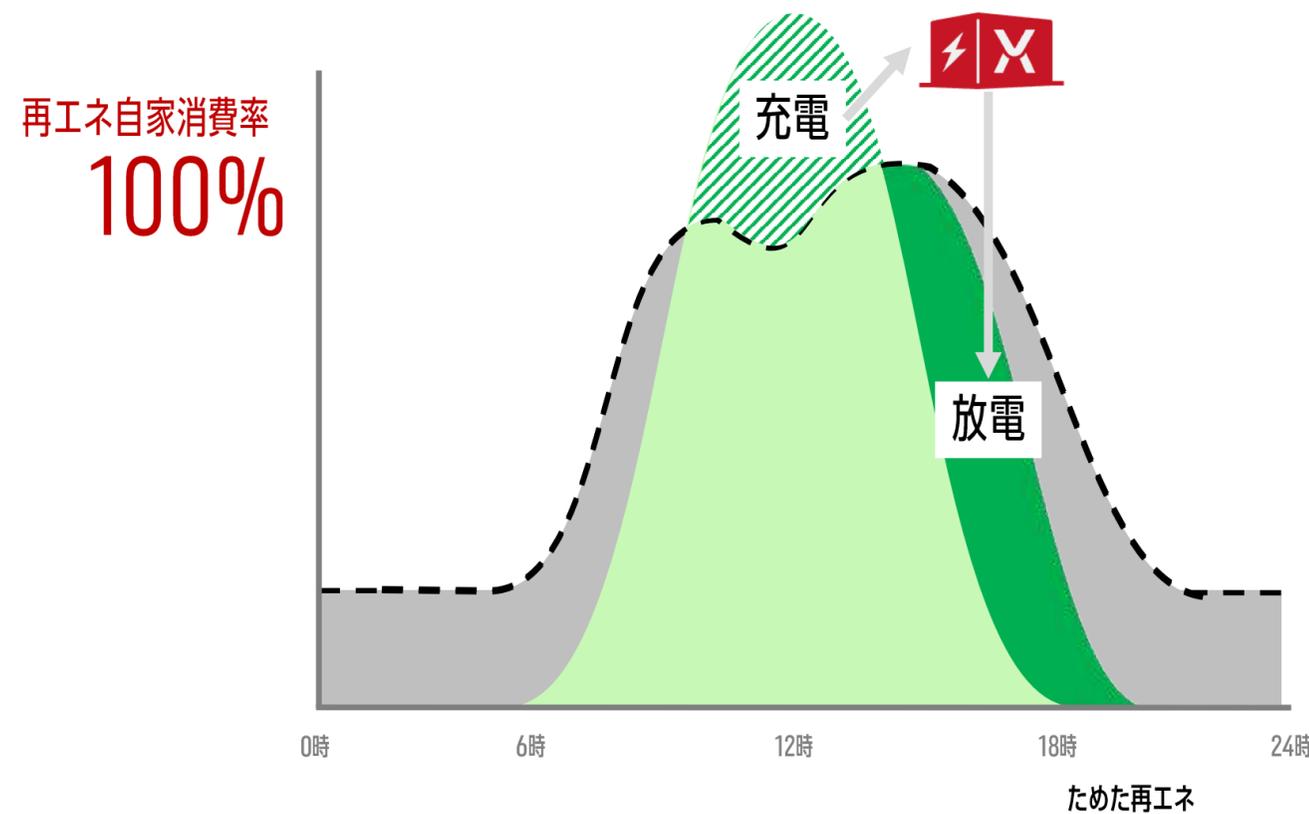
再エネ発電量の最大化

蓄電池導入前



--- 拠点の電力需要 ■ 電力会社からの購入電力量
■ 再エネ自家消費量 ▨ 捨てられる再エネ

蓄電池導入後



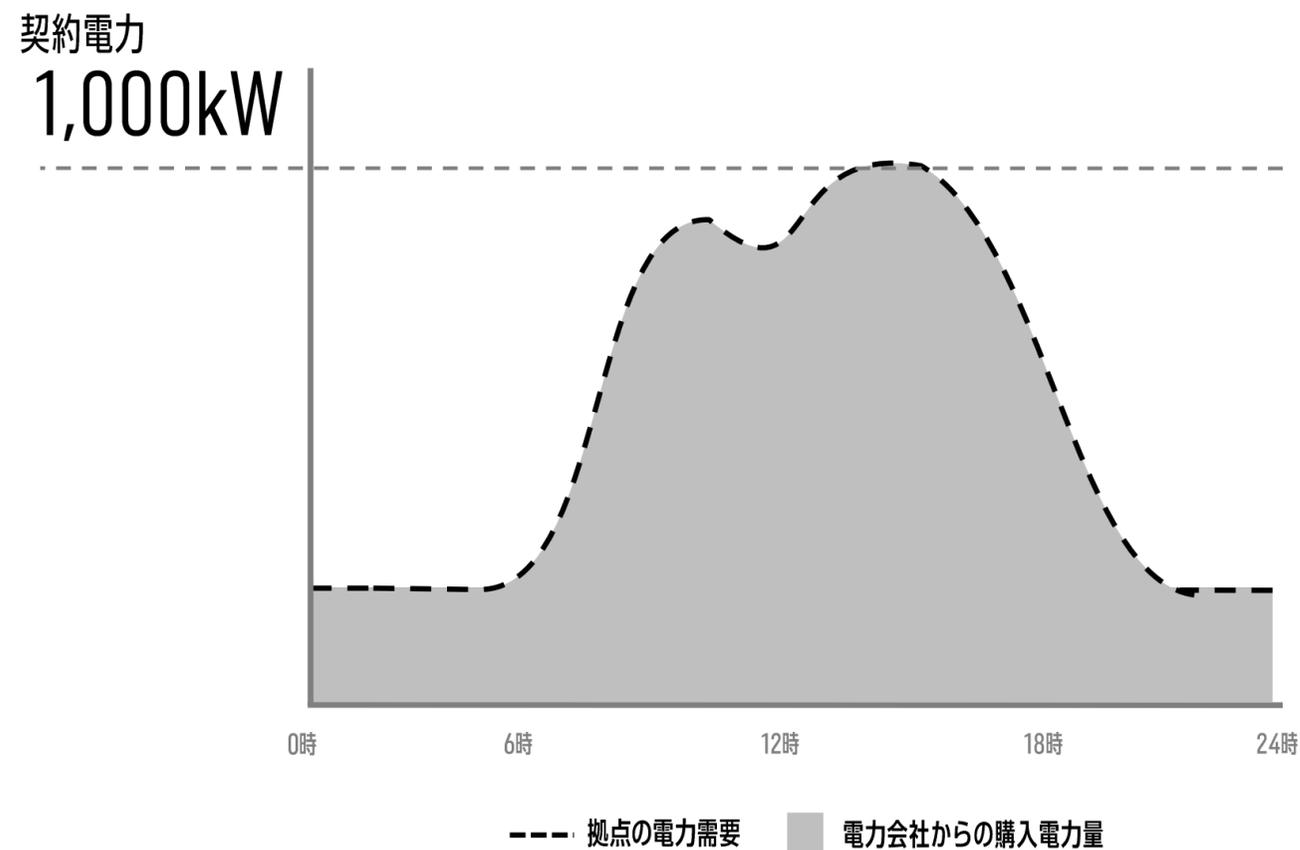
--- 拠点の電力需要 ■ 電力会社からの購入電力量
■ 再エネ自家消費量 ▨ あまった再エネ ■

蓄電池の運用② ピークカット

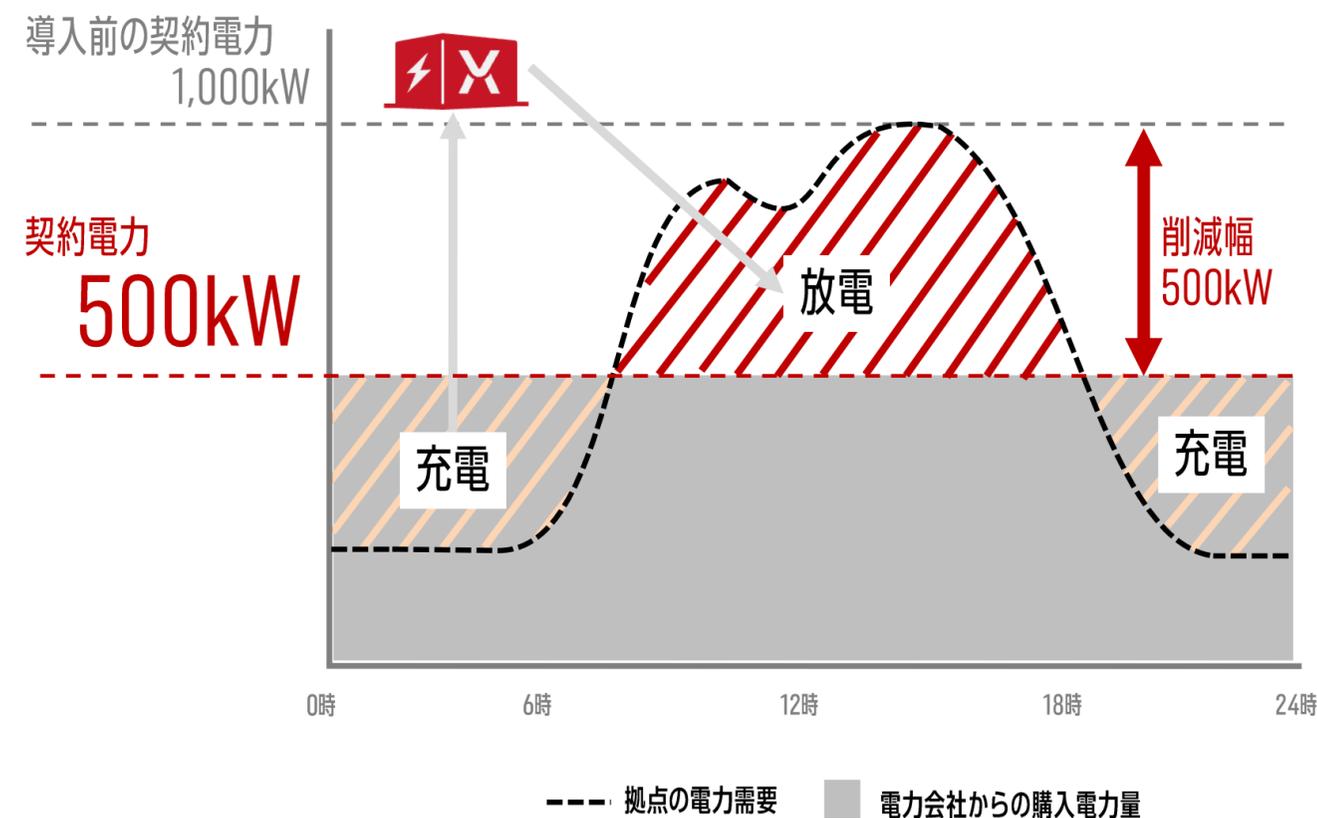
▶ 電力の需要が多い時間帯の電気を充電した電気で賄うことで、契約容量を低減し (=ピークカット)、電気代の基本料金を削減可能

ピークカット

蓄電池導入前



蓄電池導入後





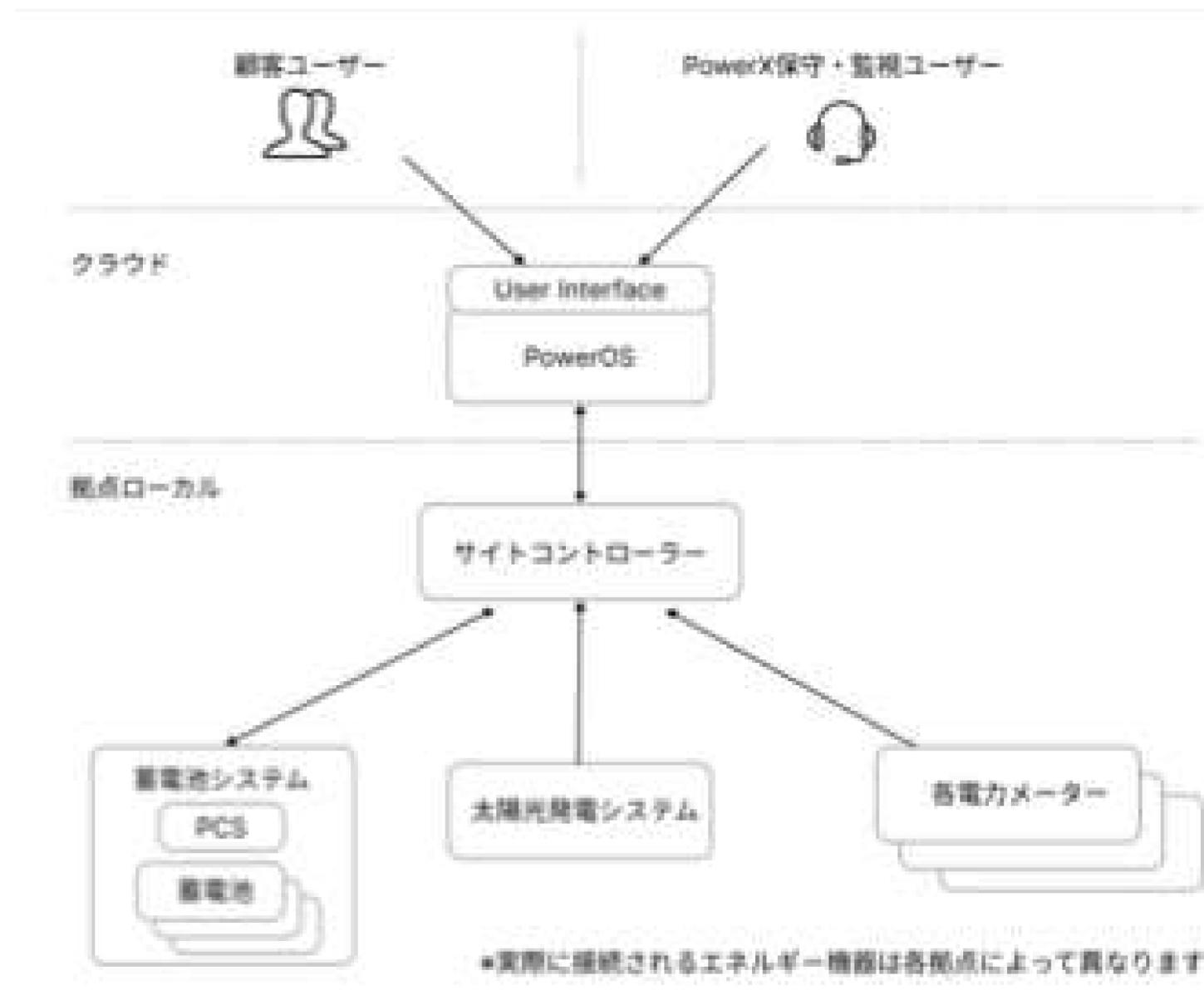
余剰充電・ピークカット制御はPowerOSでかんたんに

PowerOS

蓄電池が設置された拠点の
エネルギー管理を行うIoTプラットフォーム

PowerOSの基本機能

監視 / 制御 / セキュリティ / サポート



制御機能：スケジュール制御



Power Base

組織名組織名

現在の状況
過去の実績
操作と設定
効果と貢献
履歴

蓄電所AI
最新の状況
計画と収支
収支の推移・内訳
蓄電所の一覧
ヘルプ・ガイド
蓄電所の一覧
App name
最新の状況
XXX
ヘルプ・ガイド
設定

設定 / スケジュール詳細

スケジュール制御

複数選択

2023年6月 < > 現在

日	月	火	水	土
28	29	30	31	3
4	5	6	7	10
11	12	13	14	17
18	19	20	21	24
25	26	27	28	1

selected

- ピークあり・太陽光発電多い
- ピークなし・太陽光発電多い

+ パターンを新規登録
+ パターンを解除

繰り返し

日 月 火 水 木 金 土

期間

期限なし 期限あり

2023/6/30 ~ 2023/2/29

閉じる 変更して保存する

選択解除

label 水曜

PowerX © 2023

Privacy Policy Site Policy PowerX Glossary

宮崎県物流あああ...

制御 設備仕様 基本設定

今日 (06/26) 太陽光発電少ない

ピークカット 200kW
太陽光余剰充電 30kW

09:10 - 09:20
↑ 20kWを超えたら50%まで放電する
⚡ 220kW以下で30%まで充電する

09:20 - 09:30
↑ ピークカット 200kW
⚡ 太陽光余剰充電 30kW

11:30 - 12:30
↑ 20kWを超えたら50%まで放電する
⚡ 220kW以下で30%まで充電する

11:30 - 12:30
↑ 20kWを超えたら50%まで放電する
⚡ 220kW以下で30%まで充電する

12:30 - 14:30
↑ 20kWを超えたら50%まで放電する
⚡ 220kW以下で20%まで充電する

明日 (06/28) 現在に戻る 太陽光発電少

+

宮崎県物流あああ...

スケジュールを追加

指定された日時にスケジュールを追加します

日付

今日 (06/26)

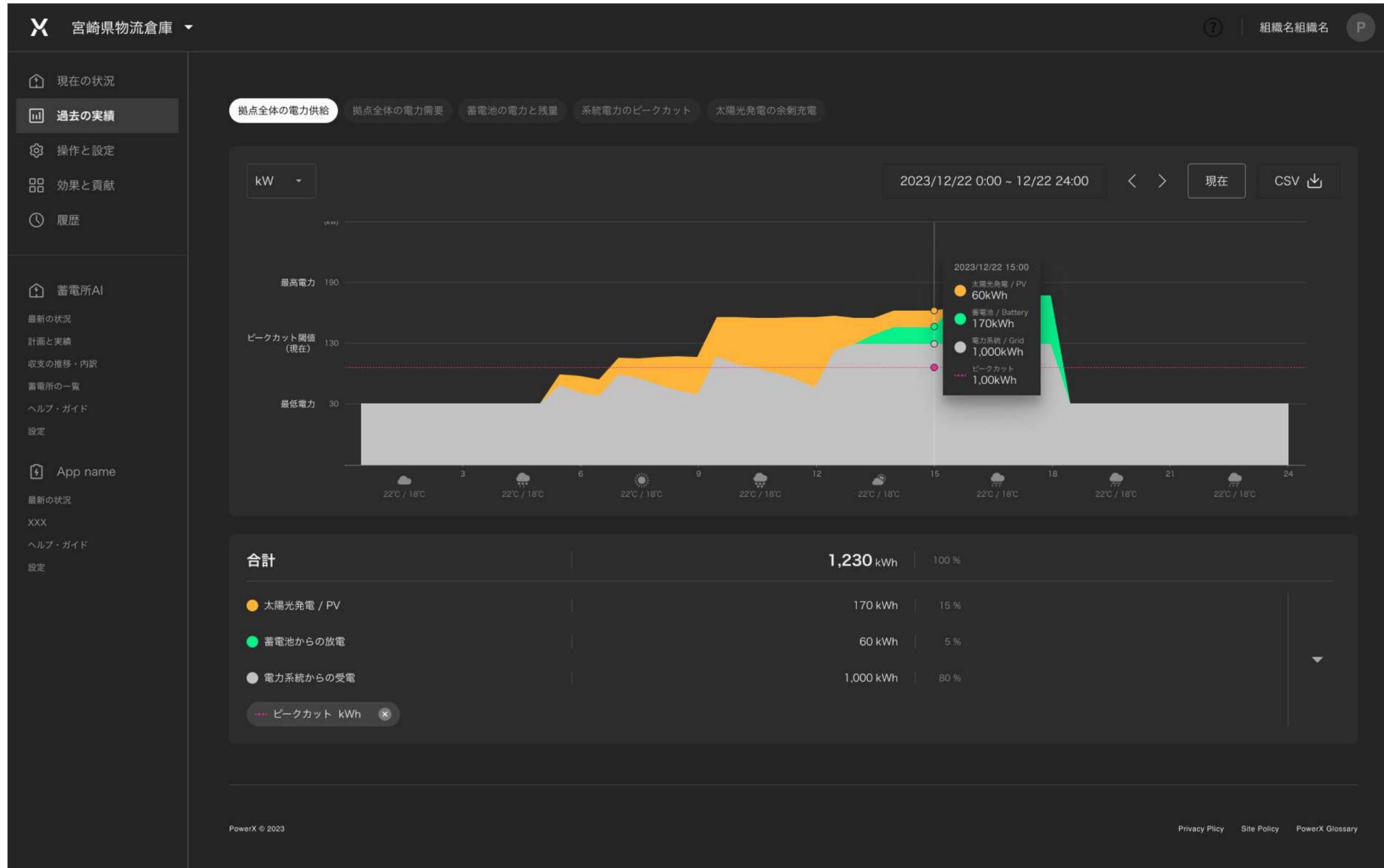
時間

00:00 - 00:00

キャンセル 追加する

※画面デザインは随時アップデートにより変更されていきます。

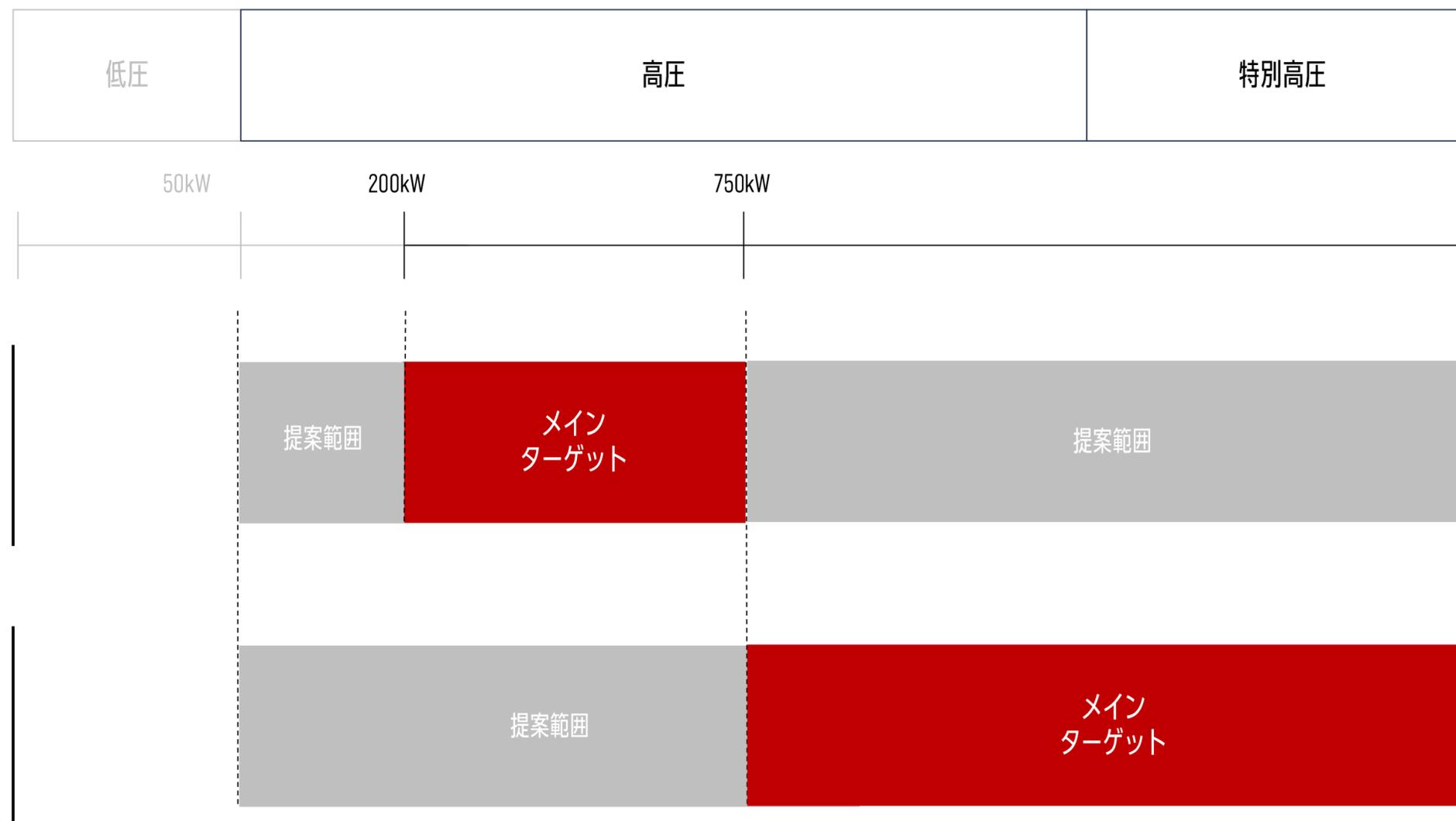
監視機能：エネルギーグラフ



※画面デザインは随時アップデートにより変更されていきます。



ご提案範囲（契約電力）の目安



PowerX Cube



Mega Power 2700A
Mega Power 2500





実績



主要顧客・導入企業 (順不同、弊社がこれまで製品・サービスを提供した顧客の一部 (契約中を含む) のご紹介)

主要顧客・導入企業



設置イメージ





超急速EV充電システム



蓄電池付超急速EV充電器-全国で充電ネットワーク拡大中



📍 関東甲信越/東北 (20ヶ所~)

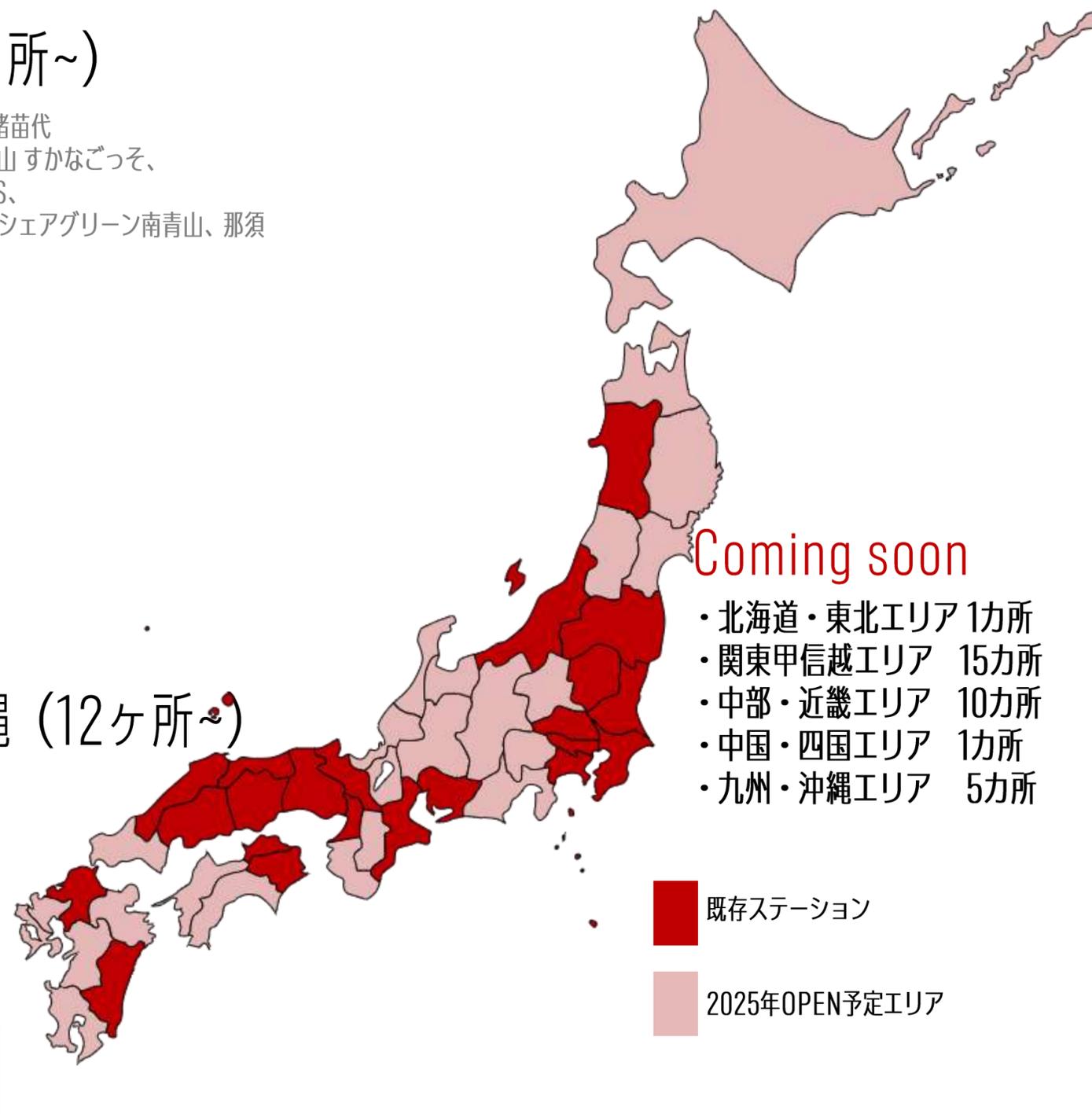
道の駅みのりの郷東金、道の駅しょうなん、道の駅猪苗代
 livedoor URBAN SPORTS PARK、JAよこすか葉山 すかなごっそ、
 Snow Peak FIELD SUITE SPA HEADQUARTERS、
 成田空港第1ターミナル、目黒セントラルスクエア、シェアグリーン南青山、那須
 千本松牧場、新丸の内ビルディング and more..

📍 中部・近畿 (25ヶ所~)

グランフロント大阪 南館、神戸北野ノスタ、
 スターバックス 京都久世店、みやこめっ
 せ、
 スターバックス 近鉄久宝寺口南店、
 伊勢オートモール、JCHO大阪病院、
 BMW / MINI明石、MINI大阪北、
 BMW / MINI大阪南 and more..

📍 中国・四国・九州・沖縄 (12ヶ所~)

スーパーオートバックス広島観音新
 町、
 新見市憩いとふれあいの公園、テク
 シード石井工場、BMW / MINI鳥
 取、BMW / MINI松江 and more..





定置用蓄電システム



定置用蓄電システムの採用実績

導入/採用実績 **1,332MWh**

Mega Power 2700A
PowerX cube

NTTアノードエナジー株式会社	東北電力株式会社 & みずほリース株式会社	中部電力ミライズ株式会社	東急不動産株式会社 (伊藤忠商事株式会社)
トヨタ自動車東日本株式会社	日本郵便株式会社	株式会社ニチレイ	日本航空株式会社 (JAL Agriport株式会社)
大和ハウス工業株式会社	東京センチュリー株式会社 & JFEエンジニアリング株式会社	株式会社ユーラスエナジーホールディングス	石油資源開発株式会社
JA三井リース株式会社	丸紅株式会社 (ニシム電子工業株式会社)	SMFL みらいパートナーズ株式会社 (ニシム電子工業株式会社)	九電みらいエナジー株式会社 (ニシム電子工業株式会社)
	⋮		

91拠点



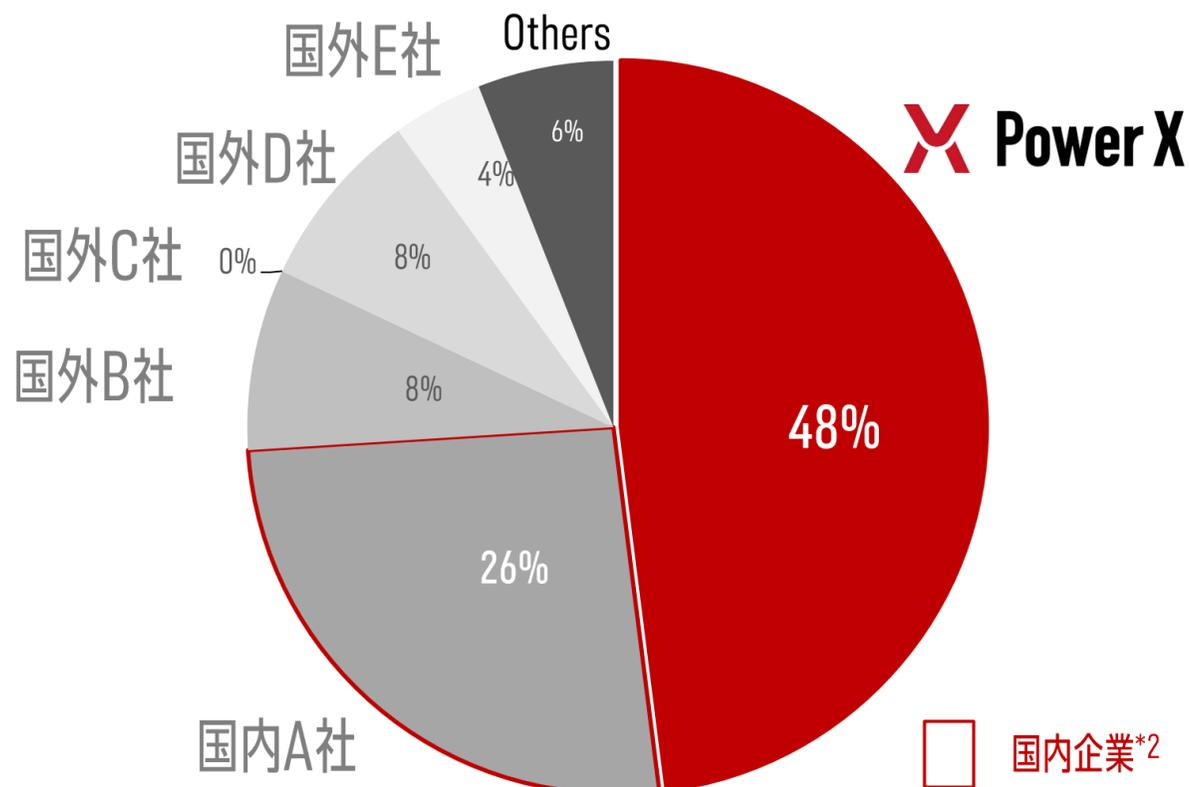
※2025/7/18時点の実績



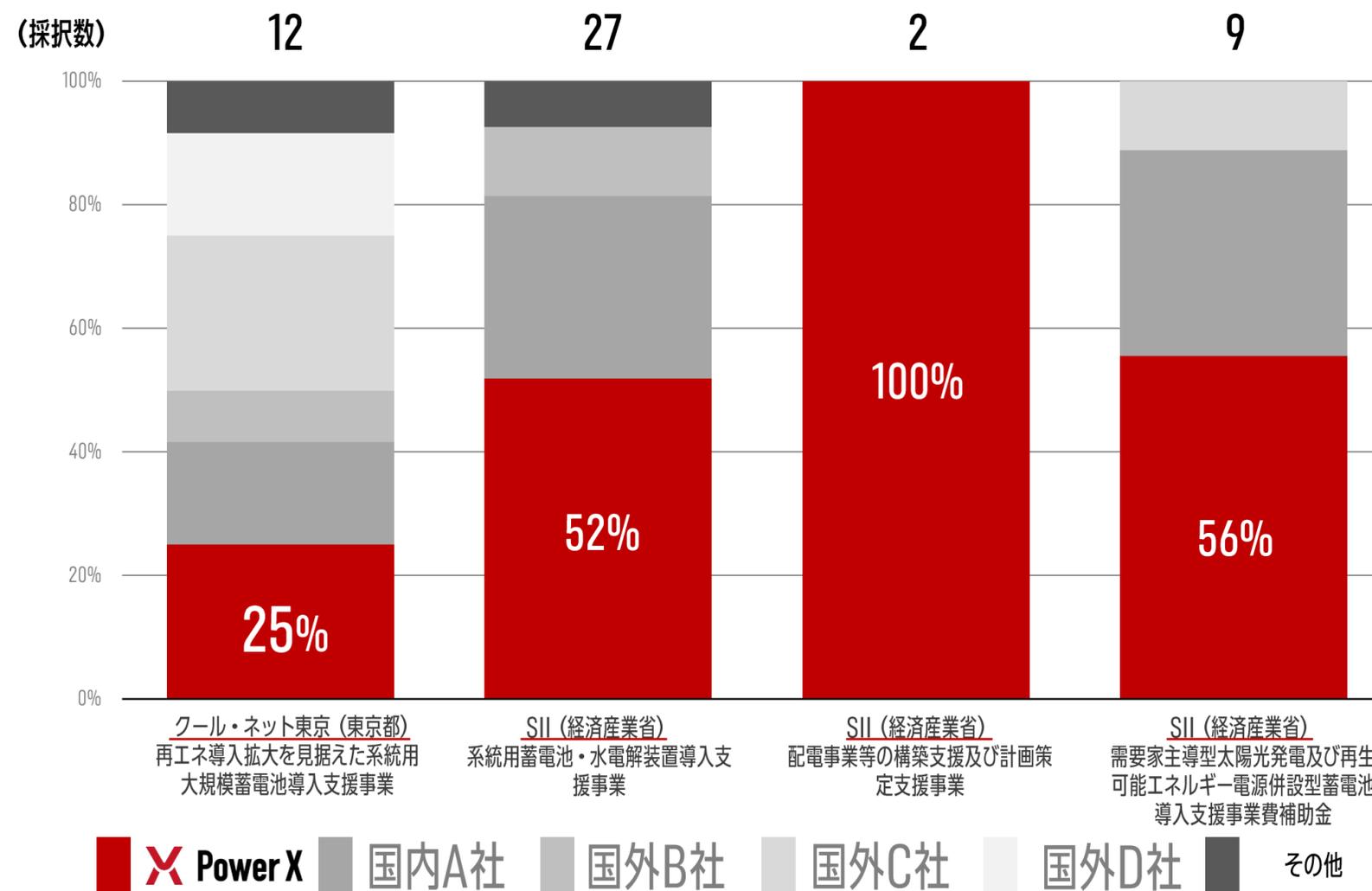
補助金採択実績多数で国内BESS市場をリード

- ▶数多くの主要セル製造企業/インテグレーターがBESS事業を展開しているが、国内勢は実質弊社含め2社のみの状況
- ▶2024年度におけるBESS向け補助金採択案件のうち**弊社が最も高い採択率（48%）**を獲得

2024年度トップの補助金採択率*1



圧倒的な補助金採択率*1



*1 補助金採択率は当社が2024年度に経済産業省および東京都によって提供された蓄電池に対する4種の補助金に関与した受給者および当局の関係者に対しインタビューを実施し集計

*2 2024年度に採用された系統用蓄電池に対する日本政府および東京都の補助金事業において、採用率が4%である国内企業1社に関しては、当社を含むグラフ内の企業の製品とは異なる用途のバッテリーを販売しているためグラフより除外

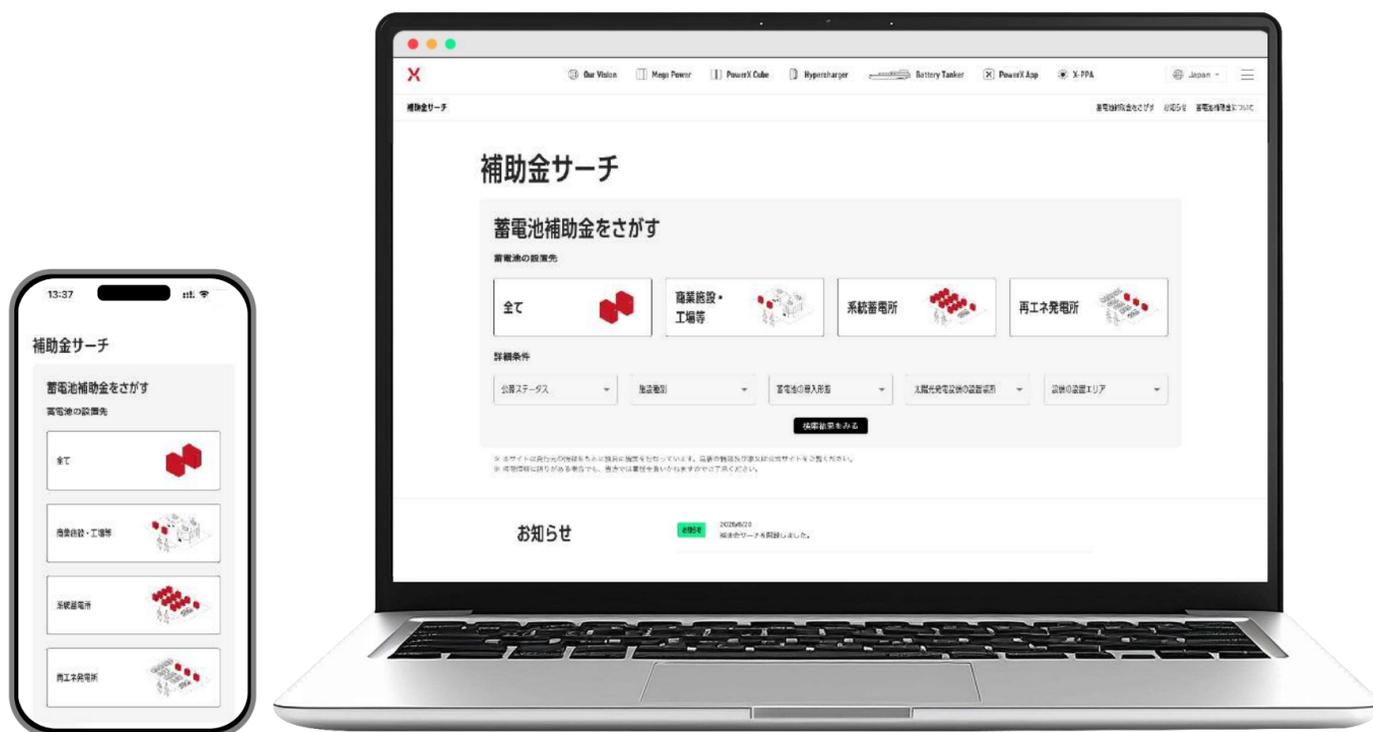


補助金情報のサイトを開設しました。

▶補助金の活用検討、補助金調査にお困りであれば、ぜひ本サイトをご利用ください。

補助金調査のコストを削減。

補助金サーチ



✔ 掲載補助金多数

各執行団体の系統用、再エネ併設、産業商業用蓄電池の補助金を掲載。

✔ 詳細条件による検索機能

施設種別、太陽光発電設備の導入有無、設置エリアなどの条件設定で、ご計画に合わせて、申請可能な補助金を検索可能。

✔ 公募要領などを要約

50~100ページの公募要領や、Q&A集を要約。事業要件をクイックに確認可能。

補助金サーチはこちらから：<https://power-x.jp/subsidies>



Thank You